

# 憲法を学問する

樋口陽一 = 石川健治 = 蟻川恒正 = 宍戸常寿 = 木村草太

2019年4月発売 / 394頁 / 本体2700円+税  
四六判 / 並製



**編集担当者から** 本書は、2016年に大学セミナーハウスで開催された同名の記念セミナーを再現し再構成したものです。法学教室442号（2017年7月号）～456号（2018年9月号）に特別企画として、不定期でその一部を連載していましたので、記憶にある方、また、その後が気になっていた方もいらっしゃるかと思います。お待たせしました。掲載しきれなかった分科会（第2～4分科会）と総括討論をあわせて書籍版となりました。

憲法はどうしても政治的・党派的な文脈で語られがちです。憲法と真摯に向き合うために、それらに惑わされない目を養う必要があります。是非、本書を読み、セミナーの熱量によりこれまでの憲法への理解が融解し、冷静で揺るぎない理解への土台が自身の内に築かれていくことを追体験してください。

なお、本セミナーは2016年以降毎年開催されています。2019年も第4回が11月30日（土）・12月1日（日）に開催されます。詳細は右下のQRコードからご確認ください。（鈴木）

## Index



講師の個性が光るプログラム。

- 第1部 対論「憲法学の体系」 樋口陽一・石川健治
- 第2部 パネルディスカッション 石川健治・蟻川恒正・木村草太・宍戸常寿／樋口陽一
- 第3部 分科会
  - 第1分科会 「統治と行政」 石川健治
  - 第2分科会 「個人の尊厳」 蟻川恒正
  - 第3分科会 「立法と司法」 木村草太
  - 第4分科会 「表現の自由」 宍戸常寿
- 第4部 総括討論

※大学セミナーハウスのウェブサイトには、開催済みのセミナーの実施報告も掲載されています。

